

2学年だより

鯖江市中央中学校

第2学年

令和8年

6月30日(火)発行

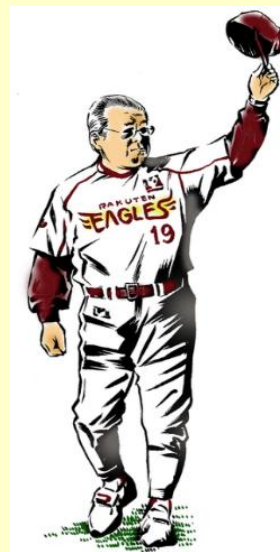


勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし

夏の訪れを感じる中、先日熱い戦いの火ぶたが切られました。6月16日から始まった鯖丹地区夏季総合競技大会。試合では仲間と声を掛け合い、必死にプレーする姿、追い込まれても最後まであきらめないという気迫、普段の学校生活では見られないような生徒たちの姿も見られ、その様子に大きく心を動かされました。試合に勝ち、次の試合へと勝ち進むチームがあれば、敗退という結果になったチームもあります。元楽天イーグルス監督の、故野村克也さんは、プロ野球史における屈指の名打者・名捕手・名監督ですが、多くの名言も残しています。私が以前目にした本の中に野村さんのこんな言葉がありました。『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』この言葉は野村さん自身が作った言葉ではなく、はるか昔の剣術書から引用されたものらしいです。負けるときには何の理由もなく負けるわけではなく、その試合中に負ける要素がある。試合に勝つためには、負ける要素が何だったのか、どうしたらその要素が消せるかを考えていく必要がある、という意味です。さらに、勝ったとしても、その中には負けにつながる何かがある可能性があり、その場合はたとえ勝てたからといって看過してはいけないということです。今回の大会を自分なりに見直し、次につながる何かを見つけ、生かしていったほしいと思います。

また2年生の生徒たちは、今大会での3年生の姿を見て大いに学び、いよいよ自分たちの代替わりが近づいてきていることを実感しているのではないのでしょうか。先輩に頼っていたばかりの自分から、部活動のリーダーそして学校のリーダーへ…今の自分に必要なものは何か、何をすべきかを見極めていったほしいです。

学年主任より



「学年だより5月号」で紹介させていただいた学級目標は、その後、ポスターを作成し、先日、発表会が開催されました。



2-1 「ニコイチ」でNo.1なクラス



2-2 「笑人全優」



※皆の想い→新・四字熟語にしています。いつか広辞苑に掲載!?

2-3 「男女優笑」 ～②度とない③組の時間を大切に～ 2-4 「24 時間 虹（2-4）のように明るいクラス」



2-5 「いわ山」 ～富士山のように日本一なクラス～



2-6 「Big Hero32」 ～ベイマックスのような優しさ 2626 ～



2-7 「元気 2700 倍 7パンマン」 ～33 人の仲間～



2-8 「33人の仲間で広げる∞の可能性」
～888(ははは)と笑えるいいクラス～



2-9 「友情マシマシ にく（2-9）めないクラス」



2-10 「2トン（10）のえっぐい笑顔（egg） エンジョイ・元気・がんばれ！」



定期テスト直前に、
チャレンジ学習タイム
を実施しました。

